

☆練馬区議会公議長賞

『支える人を支える税』

練馬区立石神井東中学校 二学年 原口 花杏

今年最初の日、能登半島を襲った大きな地震。私はその被害の大きさももちろんだが、自衛隊の出動の速さに驚いた。

私の従兄はそんな自衛隊の一員だ。話を聞くと、その厳しい訓練に途中でやめる人も多いそう。また、四月に起きた海上自衛隊のヘリコプター墜落事故には、知り合いが巻き込まれていたという。そんな過酷な訓練を受け私たちの安全な生活を支えてくれている自衛隊の維持費用は、税金から賄われている。歳出の防衛関係費に当たる税金だ。

そんな税金がなかったらどうなってしまうのか。まず、自衛隊に必要な訓練、免許取得が自己負担となるため、自衛官が減っていくことが考えられる。そして、船や航空機などの設備が整わないため、今回の様な震災が起こってしまったときに、十分な支援を届けられなくなってしまうかもしれない。そうなるか。能登半島に限らず、東北や熊本での死者、行方不明者はもっと多かったかもしれない。

今まで私は、消費税の引き上げもあり、税金に対していいイメージがあまりなかった。けれど、厳しい訓練に耐え、震災時にはいち早く駆けつけ、支援を届けてくれる自衛隊は税金のもと成り立っていることを知り、日本に、私たちの安心に、税金は必要不可欠であることが分かった。自衛隊に限らず、学校や道路、病院などの環境を整え、私たちの生活を支えてくれているのは税金である。

税金というと、負担の大きさの方がフォーカスされてしまうのが、今の日本の課題だと考える。これを解決するには、税金が自分たちの生活を支えていることを、多くの人が知る必要があると思う。そのために私ができることというところでも限られてくるが、もっと使い道を知ること、教えることなど、できることから取り組もうと思う。

国民の安全な生活を支える自衛隊を維持費から、私の健康な生活を支えてくれる両親には医療費から支えてくれている税。そんな支える人を支える税金を、まだ中学生の私は

少ししか払えないが、感謝をこめて払いたい。大人になり、納入額が増えても、「ありがとう」の気持ちを形にできるよう、夢に向かって頑張っていこうと思う。そして、弟たちにも、税金が私たちを支える人を支えているということを伝えていきたい。私を支えてくれる人を支える税金、納めている大人たち。本当にありがとう。